



平成30年 3月号



天気相談所見学会開催!

天気相談所の存在や気象の特徴について知ってもらうために、小学生を対象として見学会を開催します。見学だけでなく、実験や工作を通して、わかりやすく天気について解説します。

めざせ!!お天気博士

(お天気ワークショップ)

とき：3月21日(水・春分の日)

午前の部 10時～正午

午後の部 13時～15時

場所：日立市役所

内容：施設の見学、実験・工作など

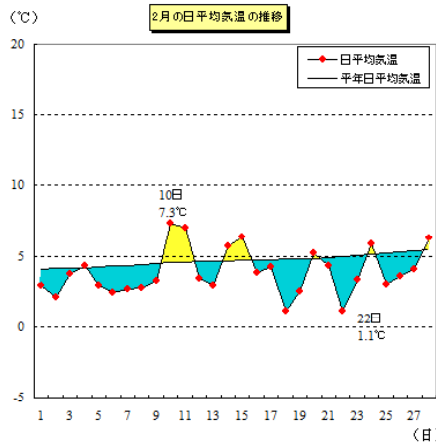
対象：小学生と中学生、保護者

参加料無料! 事前申込制

申し込みは天気相談所まで

2月の気候

2月は、平均気温が3・9度と平年より低く、寒暖の差もありましたが、全体的に低い気温となりました。日照時間は181時間と平年より多く、雪が降る日はありましたが、降水量は、5ミリと平年よりかなり少なく、2月の降水量としては、最も少なくなりました。



1か月予報 (気象庁発表)

3月は周期的に天気が変化しますが前半を中心に、平年に比べて晴れの日が少なく、上旬、中旬は平年より気温が高く、下旬は平年並みか高いと予想されます。

日々の日立市の天気予報は、天気相談所から毎日発表しています。

天気相談所のあゆみ

天気相談所の観測(目視) 天気相談所では、気象庁以外ではほとんど行われていない、目視の観測を行っています。目視の観測とは、文字通り人の目により行う観測で、自動観測ができるようになる前は、すべての項目が目視で行っていました。現在でも機械化されていないものを中心に「雲」「視程」を1日3回「大気現象」を随時観測しています。

雲

形・高さ・量・移動の方向と早さ・変化を記録しています。雲の量により「晴れ」「曇り」「快晴」などの天気が変わります。逆に言えば、雲の観測をしていないと、天気がわからないということになります。

視程

水平方向の見通せる距離です。「霧」と「もや」は視程により決まります。

大気現象

雨や雪、雷をはじめ、竜巻や虹などを、発生した時間や強さ、変化などを記録しています。

これらは65年以上毎日、記録続けています。

天気に用語の基礎知識

さくらの開花

気象庁では「生物気象観測」と言って植物の開花の日や動物の鳴き声を初めて聞いた日、見た日などの観測も行っています。天気相談所では「ソメイヨシノ」の開花日・満開日について観測し独自の開花予測も行っています。3月2日発表の今年第2回目の開花予想では、平和通りのさくらは3月29日頃開花、4月6日頃満開の予想です。

神峰の山から

毎日9時と12時、平日は15時にも、定時の目視の観測のため屋上に上がります。旧庁舎では、天気相談所自体がほぼ屋上(5階)にありましたので、すぐに外に出ることができましたが、現在は4階から往復しています。大気現象などは、随時観測しているため、部屋の中から外を時々眺めています。海の方角など、見逃してしまうこともあるので、虹や雷などを見つけた際は連絡いただけるかと助かります。

外をぼーっと眺めているようにみえるかもしれませんが(笑)、実は観測をしているのです。